

あなたの健康と未来を守る健診(検診)

病気の中には、頭痛、発熱のようにはっきりと症状が現れるものもありますが、早期には症状がなく、症状が現れたときにはすでに進行しているという病気は少なくありません。

健診(検診)を受けることで、自覚症状のない潜在する病気やリスクを早期発見し、健康管理に役立てることができます。4月から始まる各種健診(検診)で、自身の健康や未来、家族の笑顔を守りましょう。

■問い合わせ先 健康福祉課健康推進係(☎内線・1092)

◎健診(検診)受診に必要な物

- ① 健康保険証
 - ② 健康診断受診票、がん検診受診票
 - ③ 自己負担金(70歳以上の人は、令和2年度住民税非課税の人は無料)
 - ④ 大腸がん検診の専用容器(受診者のみ)
- ※特定健診は、社会保険加入者の扶養家族も受診可能です。保険者から特定健康診査受診券の発行を受け、健診日に持参してください。

◎受診票・受検票は3月中旬に送付

3月中旬に特定健診・がん検診の対象者がいる世帯に「受診票・受検票」を郵送します。必要事項を鉛筆で記入してください。



◎日程が変わることがあります

健診(検診)日程が変更になる場合があります。その際は、広報やチラシなどでお知らせします。

健診(検診)の内容

健診(検診)は、循環器系健診・大腸がん検診、胃がん検診、婦人科単独の子宮頸がん検診、乳がん検診に区分されます。対象や検査内容は下表の通りです。

種類	対象	検査内容	
循環器系健診・大腸がん検診	① 特定健診	40歳～74歳の市国保加入者、社会保険加入者の扶養家族	血圧、尿検査、血液検査、腹囲測定、心電図、眼底検査、貧血検査、推算糸球体ろ過量検査など
	② 国保30代健診	30歳～39歳の市国保加入者	
	③ 長寿健診	75歳以上	血圧、尿検査、血液検査、腹囲測定など
	④ 肺がん検診	40歳以上	胸部レントゲン検査 ※必要と判断された人は喀痰検査も実施可
	⑤ 大腸がん検診	35歳以上	便潜血検査(専用の容器に2日分採便して提出する検査)
	⑥ 前立腺がん検診	50歳以上の男性	血液検査 ※前立腺疾患治療中の人は受けられません
	⑦ 骨粗しょう症予防検診	20、25、30、35、40、45、50、55、60、65、70歳の女性	かかとの骨密度検査 ※骨粗しょう症治療中の人は受けられません
	⑧ 肝炎ウイルス検査	40歳以上で今まで検査を受けたことがない人	血液検査
⑨ 胃がん検診	40歳以上	胃部X線検査(バリウムを飲み、胃内部をX線で撮影)	
⑩ 子宮頸がん検診	20歳以上の偶数年齢に該当する女性	内診、細胞診検査、超音波検査	
⑪ 乳がん検診	40歳以上の偶数年齢に該当する女性	マンモグラフィー(乳房X線検査)	

- ▶ 特定健診、国保30代健診は令和4年3月31日時点の年齢、長寿健診は健診受診日の年齢、がん検診などは3年4月1日時点の年齢となります。
- ▶ 大腸がん検診を受ける際には、次の配布場所から専用容器を事前に受け取り、採便をして、検診日に持参してください。

《配布場所》健康福祉課、西根・安代各総合支所、田山支所、各コミュニティセンター(荒屋・田山を除く)、松尾鉱山資料館
※各行政区の保健推進員から受け取ることもできます。